



アイブラリー通信

突然の災害に身を守り対応できるように 救急看護認定看護師：坂田 久美子

9月1日は防災の日です。災害は、いつ起こるかわからないではなく、起こるものとして備えをしておく必要があります。最近では、熊本地震や台風による被害が起こっていますが、突然、今まで通りの日常生活が送れなくなってしまい衣食住に何らかの支障を来します。

今の時期は、日中は暖かくても朝晩は冷え込みますので、掛物や衣類を一枚多く準備しておきます。水や食べ物は、3日分の準備が必要です。災害が起きたあと、物資が行き渡るまでに3日ほどかかるため、その間の準備をします。南海トラフ巨大地震では、非常に広い範囲での被害の可能性があるため1週間分以上の備蓄が必要だと言われています。日頃、消費期限を確認するようにして、すぐに持ち出せる場所に置いておきます。

災害が起こったらご家族と安否確認をどのように行うか、何を持って、どこに避難するかを話し合い、日頃からの災害の備えを確認する日にしていただきたいと思います。

＝まだ知らない図書のカ＝



英国の公的医療機関であるNHS(国営医療サービス)が、うつ病患者に対して薬ではなく、本を処方するビブリオセラピーを開始したそうです。2014.2.4 TAKEUCHI.HIYOSH氏がクーリエ・ジャポン3月号の記事を紹介していました。「インターネットで皆さんもビブリオセラピーとしてみて下さい。自分に合った本をリストアップするのもよい方法かもしれません」と結んでありました。

当院2階と3階に開設している“たちばな文庫”には、絵本、小説、写真集などが置いてあります。お気に入りの一冊を探してみたいかたはどうか。なお、ビブリオセラピーについて詳しくお知りになりたい方はこちらのサイトどうぞ <http://namaraii.com/archives/19828>

アイブラリーには何があるの？

病気を知るための本、DVD情報検索のためのパソコンがあります。一度ぜひ本を手にとって下さい。知りたいのにみつからないときは、看護師(終日)と図書館司書(午前)が対応させていただきます。気軽に声をかけて下さい。



平成28年度 セミナー開催報告 (3回分)



平成28年6月2日 感染管理認定看護師によるセミナー「食中毒の予防と対策」がありました。キャベツを切った後の保存方法や、カレーを繰り返し、煮込むことによる細菌発生について、質疑応答も活発に行われ、関心の高さがうかがわれました。また、食中毒発生後の対処法について知りたいという意見がありました。

平成28年8月26日 感染制御部の薬剤師によるセミナーがありました。「薬の飲み方服用後の効果」について薬の服用期限、もらった薬の飲み残しの値段や、お薬手帳の必要性、保管の方法、漢方薬と西洋薬の違い、ジェネリック医薬品の効果についての質問などに丁寧に答えていただきました。

平成28年9月6日 医療福祉相談部技師長によるセミナーがありました。「地域医療連携」医療保険制度・病院の機能分化について詳しく教えていただきました。昔病院で行われていたような処置なども介護施設で行われるようになってきている。医療型、介護型の施設の違いなどの質問にも丁寧に答えて頂きました。

希望図書の声

「日本糖尿病学会の『糖尿病診療ガイドライン2016』が出版されているので希望します」→**購入予定**